

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	河川愛護事業費					
担 当 課 係 名	建設 課		監理 係		作成者	武藤義彦
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	共に参加し行動する市民協働のまち				総合計画の ページ
	基本計画	市民参画と協働のまちづくり				
	主要施策	市民参加の機会の増加				104
予 算 費 目	一般 会計	8 款 土木費	3 項 河川費	1 目 河川総務費		
事 業 期 間	平成 13 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	県管理河川の除草作業等を地域（集落）が連携して行う。
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	地域住民が共に協力し地域の環境美化に努める。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	堤防草刈、花の植栽、除草剤散布等の実施

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	団体数	団体	22	22	
	成果指標	作業実施箇所数	箇所	22	22	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			982	962	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金		547	750	
		地方債				
		その他				
		一般財源		435	212	
	人件費 (B)		—	2,591	2,663	
		職員数	—	0.33	0.33	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	3,573	3,625	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	162,409	164,773	
			—			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	112	115	

【事務事業の今までの成果】

当初は草刈作業だけの団体が多かったが、最近は花の植栽や除草剤散布作業を行う団体も増えている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	ここ数年予定交付額（管内調整）が増額している。
事業に対する市民の意見 （事業に対する期待、要望、苦情等）	新規団体の問い合わせが増えている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	市民の協力により実施している事業であり、今後も継続をお願いしていく。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	河川の環境整備に積極的に取り組んでいる事業であり、引き続き事業の実施については必要と考える。

一次評価診断図

